

平成29年度第2回
地域コミュニティ連絡会
平成29年10月2日～12月14日

前年度に、校区ごとに作成した「きずながつくる協働の取組み計画(案)」の中から数件を選び、グループ別に意見交換を行いました。すべての校区の内容は、市ホームページをご覧ください。ここでは一部を紹介いたします。

- ・ 明るい先手のあいさつを心がける
- ・ 学校と自治会、町内会、敬老会、子ども会との連携を一層進める。
- ・ 世代間交流しやすいよう、日程などの調整を行う。
- ・ 防災力の高い町内会の事例を共有し、校区全体の防災力を高める。
- ・ 防災訓練時に身体の不自由な人やお年寄りに手を貸すなど、助け合いの体験や話し合いを試してみたい。
- ・ 交通マナー、交通ルールの保護者への啓発。子どもたちへの交通安全教育、防犯教育。 など



▲話し合い方法もそれぞれ

■「情報共有」をする

連絡会では、情報共有を目的に、校区ごとの各団体の年間スケジュール表を作成しました。またこのスケジュール表を使って、各種行事への参加呼びかけを行いました。中郷西中と北上小学校校区では、地区住民の行動へとながら、それぞれの目標を達成することができました。

以下ではその事例を紹介いたします。



▲▶中西祭はたくさん人で賑わいました

Pick Up!!

行事への参加呼びかけをした
中郷西中

目標

中西祭体育祭で、全校生徒と住民を合わせ500人規模で農兵節を踊りたい。

実施

自治会が住民へ町内放送による農兵節への参加を呼びかけ

コミュニティ連絡会の席上で、校長から農兵節への参加を呼びかけ

生徒が家族や住民へイベントを直接周知し、参加を依頼

結果

住民、生徒、その家族も率先して踊りの輪に加わり、613人で踊ることになり目標達成！郷土の伝統芸能の発展や郷土振興に寄与したとして市長から感謝状が贈呈された。

Pick Up!!

地域での情報共有により新たな試みを実施した
北上小学校区

目標

中学生ボランティアが行事で活躍してくれたときいた。うちの自治会行事でも、ボランティアとして参加してもらおう！

実施

実施している自治会に相談しノウハウを伝授してもらう

中学校へ直接、自治会への中学生ボランティアを依頼

結果

自治会行事へ、中学生ボランティアが初参加。